

市川市消防委員会資料

日 時：平成31年2月6日（水）

10時00分から

場 所：市川市消防局 4階会議室

目 次

1 議 題

平成31年度市川市消防局の主な施策（案）について（P1～P4）

2 報 告

（1） 薬剤（アドレナリン）の紛失について（P5～P6）

（2） 平成30年消防出動状況について（P7～P8）

（3） 消防施設整備事業の進捗状況について（P9）

ア 市川市東消防署高谷出張所

イ 市川市消防団第7分団車庫兼詰所

3 その他

今後の消防局における主な行事予定について（P10）

【議題】

平成31年度 市川市消防局の主な施策（案）

施 策	施策の内容	主な担当課
消防施設整備の推進	<p>消防庁舎等の施設は、重要な防災拠点施設としての機能を有しており、消防業務の遂行に支障を来すことなく、その機能、設備を継続的に維持、管理する必要があることから、計画に基づき適正かつ効果的に消防施設の整備・改修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防局・東消防署合同庁舎改修工事 ・ 西消防署改修工事 	企画管理課
消防車両等の整備推進	<p>消防車両の整備計画に基づき車両等の更新、整備を行い、消防活動体制の充実強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高規格救急自動車 1台 ・ 消防ポンプ自動車1台 ・ 水槽付き消防ポンプ自動車1台 	企画管理課
消防指令業務共同運用の協議検討	<p>北西部ブロックにおける消防指令業務の共同運用は、2期に分けての整備であり、平成32年度運用開始予定の第2期整備は、構成10市消防本部（松戸市、市川市、野田市、流山市、鎌ヶ谷市、浦安市、習志野市、八千代市、柏市、我孫子市）、人口規模240万人に対応できる新規の指令システムを構築するため、機器仕様等の協議検討を行うとともに、指令業務の運用に必要な例規等の整備を図る。</p>	指令課
消防団及び婦人消防クラブの充実強化	<p>消防団は、1団本部、23個分団、333名の団員で組織され、火災出動はもとより、地震や風水害等の大規模災害時に、地域住民の避難誘導や救助救出を行うなど、住民の生命・身体及び財産を災害から守るためには欠かせない存在である。このようなことから、消防団を中心とした地域防災力の充実強化を図るため、団員の確保をはじめ消防団の装備や訓練、環境整備に積極的に取り組む。</p> <p>また、婦人消防クラブは、現在14支部297名の会員で組織され、一般家庭からの火災防止と大規模災害時における地域の防災リーダーとして活動するために、初期消火や応急救護等の技術を修得し、防災訓練等において指導を行うなど、地域に密着した活動を行っている。今後も地域の中心的存在として、活動内容の充実や組織体制の強化を図る。</p> <p>（消防団員数・婦人消防クラブ員数・平成31年1月1日現在）</p>	警防課

施 策	施策の内容	主な担当課
火災予防対策の推進	火災予防を推進するため、市民に防火思想の普及啓発を図ることを目的とし、春季・秋季全国火災予防運動の実施に伴う訓練や消防広場などのイベントをはじめ、様々な機会を通じて、市民と消防の連帯感を高め火災予防対策の推進を図る。	予防課
訓練・研修の充実	多種多様化する災害事象や市民ニーズに対応するため、各種訓練の充実を図るとともに、研修・講習等への職員の参加等を積極的に推進し、職員の自己啓発意欲及び資質の向上を図る。	消防総務課 予防課 警防課 救急課
救急需要対策の強化	超高齢社会や年々増加する救急需要に対応するため、市民の救急相談に応じる救急安心電話相談や、症状の緊急度を判定するスマートフォン用のアプリなど、各種媒体の利用を積極的に促進するとともに、関係機関との連携を深め、救急需要対策の効果的な方法の調査、研究に努める。	救急課
救急業務高度化の推進	救急業務の高度化を推進するため、医師による救急救命士に対する指示体制、救急隊員に対する指導助言体制、救急活動の医学的観点からの事後検証体制及び救急救命士の教育研修体制等のメディカルコントロール体制の充実強化を図るとともに、救急隊員の資質、技術の向上を目指す。	救急課
応急手当普及啓発業務の推進	救急車の要請から救急隊が現場に到着するまでに、市民等による応急手当が適切に実施されれば、大きな救命効果が得られる。 そのため、幅広い年齢層の市民に応急手当の知識と技術が普及するよう、市民体験型の応急手当普及啓発活動を積極的に推進していく。	救急課
救助体制の充実強化	東関東自動車道、京葉道路をはじめ、昨年6月には東京外かく環状道路千葉区間が開通し、道路環境に大きな変化があり、市内を越えて出動する区域が拡大した。 このことから、現在3隊で運用している特別救助隊を4隊体制とし、市内の救助事案に対する対応力を強化する。	警防課

○ その他の推進事業

施 策	施策の内容	主な担当課
住宅用火災警報器の設置並びに維持管理普及啓発の推進	<p>すべての住宅に対する住宅用火災警報器の設置義務化から10年が経過したことから、電池切れや機器本体の劣化に伴う作動不良が懸念されるため、イベントや広報紙などを通じて定期的な点検、本体交換など維持管理について周知するとともに、引き続き住宅用火災警報器の設置定着を図る。</p> <p>また、住宅火災における高齢者の死者の割合が高いことから、住宅火災の現況も含め総合的に防火指導をする必要があるため、あらゆる機会を通じて、火災発生時における住宅用火災警報器の有効性について奏功事例等を用いて説明し、設置率の向上、維持管理の普及啓発を図る。</p>	予防課
防火・防犯対策等の推進	<p>地域における安全・安心の確保を図るため、消防職・団員が一致協力しながら、婦人消防クラブ、自治会等と連携し、防火・防犯のパトロール等を推進していく。</p> <p>また、火災原因の第一位である放火（疑いを含む）を防ぐためには、地域全体で「放火されない環境づくり」に取り組む必要があり、一人一人が放火火災の危険性について認識を持つことが重要であることから、空地の枯草除去、ごみ出しのルール徹底、共同住宅の共用部分や公共施設のトイレ等の放火危険箇所のパトロールと言った具体的な対策について消防訓練や広報紙等を通じ住民や管理者へ啓発していく。</p>	警防課 予防課
消防応援・協力体制の強化	<p>近年、懸念されている東京湾北部を震源とする地震及び複雑・大規模化する災害事象に備え、様々な訓練機会を通じ、千葉県消防広域応援協定、緊急消防援助隊等による広域応援の他、隣接消防本部（局）間における消防相互応援体制の強化を図る。</p>	警防課 救急課

<p>安全衛生管理体制の充実と健康管理体制の促進</p>	<p>職員の意見や提案を反映させながら、各施設の環境整備を図るとともに、災害活動時や訓練時における安全管理及び登退庁時における事故防止の徹底を図る。</p> <p>また、職員の体力向上への取り組みや、精神的ストレスが溜まらない職場環境づくりに努め、心と体の健康管理の充実を推進するとともに、職場におけるハラスメントを防止するため、職員の意識の更なる向上を図る。</p>	<p>消防総務課</p>
------------------------------	--	--------------

平成 3 1 年 2 月 6 日

市川市消防委員会委員各位

市川市消防局
消防局長 本住 敏

薬剤（アドレナリン）の紛失について（ご報告）

このことについて、平成 3 0 年 1 2 月 2 8 日に発生した救急救命士の使用する薬剤（アドレナリン）の紛失に関する調査結果を次のとおりご報告いたします。

この度は、市民の皆様をはじめ、関係者の皆様に対しまして、大変ご迷惑をおかけしましたことに深くお詫びを申し上げます。

記

- 1 覚知日時 平成 3 0 年 1 2 月 2 8 日（金） 1 2 時 2 5 分
- 2 出場現場 市川市大野町 4 丁目 一般住宅
- 3 通報内容 8 6 歳の父親、喉に餅を詰まらせた。
呼吸は出来ている。顔色が青い。
- 4 経緯及び調査結果

上記通報内容により救急隊等が出動した一連の活動中に 1 ミリリットル入りの薬剤（アドレナリン） 1 本を紛失した可能性を認識し、報道発表するとともに、市公式ウェブサイトへの掲載を行いました。

本事案は救急隊 2 隊及び支援隊として消防隊 1 隊が出動し、北消防署でラピッドカーとドッキング後、市内の病院へ搬送したものです。

同日、午前 8 時の点検時には、隊員により救急車に積載してある 1 0 本のアドレナリンを確認していましたが、救急救命士及びラピッドカー搭乗看護師により合計 3 本のアドレナリンを救急車内で使用し医療機関へ搬送後、資器材の確認をした際、未使用のアドレナリンが 6 本しかないことが判明しました。

このことに関し、平成 3 1 年 1 月 2 2 日までの間、紛失及び他の資器材への紛れ込みなどあらゆる面で調査と聞き取りを行った結果、医療関係者からの新たな情報提供により、紛失したと思われていた薬剤（アドレナリン）を含め 4

本すべての確認がとれました。

5 薬剤（アドレナリン）の確認結果

- (1) 救急車内において空けられたパッケージ3袋及び2本のシリンジを確認。
- (2) 搬送先医療機関で1本のシリンジを確認。（病院で廃棄済）
- (3) ラピッドカー資器材バッグから、開封されたパッケージ1袋とシリンジ1本が発見され、病院で廃棄した事実を確認。

6 考察

今回の救急事案では薬剤（アドレナリン）を3回（救急救命士1回、ラピッドカー看護師2回）傷病者へ投与しております。アドレナリンは通常4分おきに投与することが原則であります。今回は活動中に心拍の再開があったことから、通常投与するタイミングで準備をしていたアドレナリンを実際は投与することなく廃棄したものが資器材の中に紛れ込んでしまったものと思われま

す。これまで、未使用のアドレナリン1本を紛失したとの思い込みで調査、聞き取りを行っていたことから、医療関係者へ正確な情報が伝わらず、確認までに時間を要してしまったものと考えております。

7 今後の対応について

今後は、薬剤管理の重要性について再認識するとともに、ラピッドカーやドクターヘリなど関係機関との連携・連絡体制の強化をはじめ、救急活動中における資器材の管理体制を徹底するなど、再発防止に努めてまいります。

【報告2】

平成30年 消防出動状況 (平成30年1月1日～12月31日)

平成31年1月31日現在 (概数)

1 諸出動状況

区分 \ 年別	平成30年	平成29年	増減数	増減率
火災	97	95	2	2.1%
警戒	3,915	3,307	608	18.4%
風水害	1	1	0	0.0%
応援	40	39	1	2.6%
救助	368	336	32	9.5%
救急	23,570	22,511	1,059	4.7%
計	27,991	26,289	1,702	6.5%

2 火災発生状況

区分 \ 年別	平成30年	平成29年	増減数	増減率	
火災件数	97	95	2	2.1%	
火災種別	建物火災	66	57	9	15.8%
	林野火災	0	0	0	—
	車両火災	4	10	-6	-60.0%
	航空機火災	0	0	0	—
	船舶火災	0	0	0	—
	その他火災	27	28	-1	-3.6%
焼損棟数	87	72	15	20.8%	
り災世帯	52	54	-2	-3.7%	
り災人員	118	109	9	8.3%	
焼損床面積(m ²)	1,420	1,498	-78	-5.2%	
焼損表面積(m ²)	127	450	-323	-71.8%	
損害額(千円)	129,809	147,217	-17,408	-11.8%	
死者	4	5	-1	-20.0%	
傷者	36	32	4	12.5%	

3 火災原因別状況

原因別 \ 年別	たばこ	こころ	炉・かまど	ストーブ	こたつ	ボイラー・排気管	電気機器・装置	電気配線・器具	火あそび	マッチ・ライター	たき火	灯火・衝突火花	放火(疑い含む)	その他	不明・調査中	合計
平成30年	12	17	1	2	0	1	2	7	3	1	1	4	18	10	18	97
平成29年	16	5	0	3	0	4	6	5	0	1	2	3	20	14	16	95
増減数	-4	12	1	-1	0	-3	-4	2	3	0	-1	1	-2	-4	2	2

4 救急出動状況

区分	平成30年		平成29年		増減数	増減率
	出動数	構成比	出動数	構成比		
火 災	83	0.4%	87	0.4%	-4	-4.6%
自然災害事故	0	0.0%	7	0.0%	-7	皆減
水 難 事 故	14	0.1%	9	0.0%	5	55.6%
交 通 事 故	1,574	6.7%	1,663	7.4%	-89	-5.4%
労働災害事故	218	0.9%	167	0.7%	51	30.5%
運動競技事故	112	0.5%	95	0.4%	17	17.9%
一 般 負 傷	3,552	15.1%	3,473	15.4%	79	2.3%
加 害	138	0.6%	176	0.8%	-38	-21.6%
自 損 行 為	197	0.8%	204	0.9%	-7	-3.4%
急 病	14,874	63.1%	14,036	62.4%	838	6.0%
そ の 他	2,808	11.9%	2,594	11.5%	214	8.2%
計	23,570	100.0%	22,511	100.0%	1,059	4.7%

5 消防相談出動状況

区分		署別				合 計
		東 署	西 署	南 署	北 署	
蜂 の 駆 除	ス ズ メ バ チ	1	0	0	3	4
	ア シ ナ ガ バ チ	1	3	3	2	9
へ び の 駆 除		3	3	2	1	9
動 物 の 保 護 (捕 獲)		3	4	7	5	19
動 物 の 死 骸 除 去		3	3	3	5	14
そ の 他	焚 火 ・ 花 火 の 放 置	3	5	3	17	28
	警 報 器 等 に 関 す る こ と	8	9	12	6	35
	危 険 排 除	0	0	9	5	14
	鍵 等 の 開 錠	5	1	1	1	8
	異 臭 ・ 異 音 の 調 査	2	3	3	1	9
	そ の 他	12	9	11	5	37
合 計		41	40	54	51	186

【報告 3】

消防施設整備事業の進捗状況について

ア 市川市東消防署高谷出張所

「概要」

市川市東消防署高谷出張所は昨年(平成30年)の10月に完成し、運用を開始いたしました。
また現在、Ⅱ期工事としまして、既存の庁舎を解体し、植栽整備等の外構工事を進めております。すべての事業の完了は、平成30年度末となっております。

記

- 1 工 期 Ⅱ期工事
平成30年10月18日から平成31年3月13日まで
- 2 施工場所 市川市高谷2023-10 市川市東消防署高谷出張所
- 3 工事概要 既存の庁舎の解体及び植栽整備等の外構工事

イ 市川市消防団第7分団車庫兼詰所

「概要」

市川市消防団第7分団車庫兼詰所は、昨年(平成30年)10月より新築工事を開始しております。完成時期につきましては、平成30年度末を予定しております。

記

- 1 工 期 平成30年9月26日から平成31年3月12日まで
- 2 施工場所 市川市菅野1丁目16番22号 市川市消防団第7分団車庫兼詰所
- 3 庁舎概要 軽量鉄骨造、平屋、延べ面積44.91㎡
- 4 団 員 数 11名(平成31年1月1日現在)
- 5 配置車両 普通ポンプ自動車

【その他】

消防局における今後の主な行事予定について

1 春の火災予防運動 Spring Fire Festival

- (1) 開催日時：平成31年3月3日（日）10時00分から11時00分まで
- (2) 場 所：市川市市川1丁目1番1号「JR市川駅構内コンコース」
- (3) 目 的：全国春季火災予防運動に伴う広報行事の一環として「春の火災予防運動 Spring Fire Festival」を開催し、音楽演奏活動を通じて地域住民とふれあい、消防と市民との連帯感を深め、火災予防思想の普及高揚を図ることを目的とする。

消防局行事予定（平成31年2月6日現在）

予定日	場 所	行事名
4月24日(水)	山梨県甲府市	第42回全国消防長会関東支部消防職員意見発表会
5月下旬	大野消防訓練場	市川市消防団操法大会
6月 4日(火)	千葉県消防学校 (市原市)	救助技術千葉県大会
6月19日(水)	習志野市	救助水上の部選考会
6月30日(日)	流山市	第38回公益財団法人千葉県消防協会東葛飾支部消防操法大会